

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	提携講座(国際コミュニティ演習) Cooperated course in Practice of the Global and Community Activities		授業コード	E044901
担当教員名	高見 大介		科目ナンバリングコード	
配当学年	2年(2014年度入学生のみ)	開講期	後期(H26年度のみ)	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	実際にインドネシア・ジョグジャカルタに行き、文化交流活動を行います。国際的な見地から様々な現状を確認し、前向きに活動できる事を条件とします。			
受講心得	授業以外の時間でも、日本の文化・インドネシアの文化・語学(英語)に対する自主学習を進めてください。			
教科書	なし			
参考文献及び指定図書				
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、人間力概論、産学一致の勧め、ボランティア概論など			

授業の目的	異文化と自国の文化の相互理解と実践的交流を目的とし、地元地域の文化(伝統芸能)を自ら掘り起し、体験し異文化へ輸出する事。また、異文化への理解を座学で学び、実際に他国へ訪れさらに深く理解する事で相互理解の重要性を身につけることを目的とする。
授業の概要	自国の文化を論理的に展開するべく、地元地域の伝統芸能保存の団体等に密着し、それを深く学ぶ。また、仕上げとして、実際に異文化の交流を海外で実践する。それぞれの知識を実践的に学ぶとともに、各地域をフィールドにした実践活動を行うことで、将来のグローバル人材としての素養を養う。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：第1回 ワークキャンプ概論	国際的な文化交流活動の意義を知る
第2週：第2回 異文化の相互理解と、インドネシア	海外での活動について情報収集
第3週：第3回 ワークキャンプ事例報告(日本財団よりゲスト)	日本・インドネシア両国の歴史の情報整理
第4週：第4回 大分とインドネシアの歴史	
第5週：第5回 大分の伝統芸能	
第6週：第6回 インドネシアの伝統芸能	
第7週：第7回 中間発表	班ごとでまとめた情報の共有
第8週：第8回 事前準備について	
第9週：第9回 異文化交流の実践事例	現地活動の計画・準備
第10週：第10回 リスクマネジメント概論(海外編)	現地活動の準備
第11週：第11回 海外ワークキャンプ準備(日本財団よりゲスト)	

		現地活動の準備
第12週：第12回 実習(1:インドネシアの文化を知る)		現地活動の準備
第13週：第13回 実習(2:大分の伝統芸能を伝える)		
第14週：第14回 実習(3:インドネシアの伝統芸能を学ぶ)		
第15週：第15回 報告会用プレゼンテーション取りまとめ		
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	①世界情勢に興味関心を持ち、それを身近に感じ意欲的に活動する
<b>【知識・理解】</b>	①自分の現在を理解し、他者の存在を尊重する事
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	仲間と自分の長所・短所を理解し、補い合う事。自分の想いを言語化し相手に伝える事。
<b>【思考・判断・創造】</b>	相互理解と合意形成を図る事

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	90点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。			10点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	20点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		10点	20点	
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	多文化共生についてのレポート・日本文化を伝える為のプログラム作成(紙芝居・ダンス等)
発表・その他(無形成果)	実際に自分たちで作ったプログラムを、インドネシアの小学校で日本の文化を伝える活動を行う。